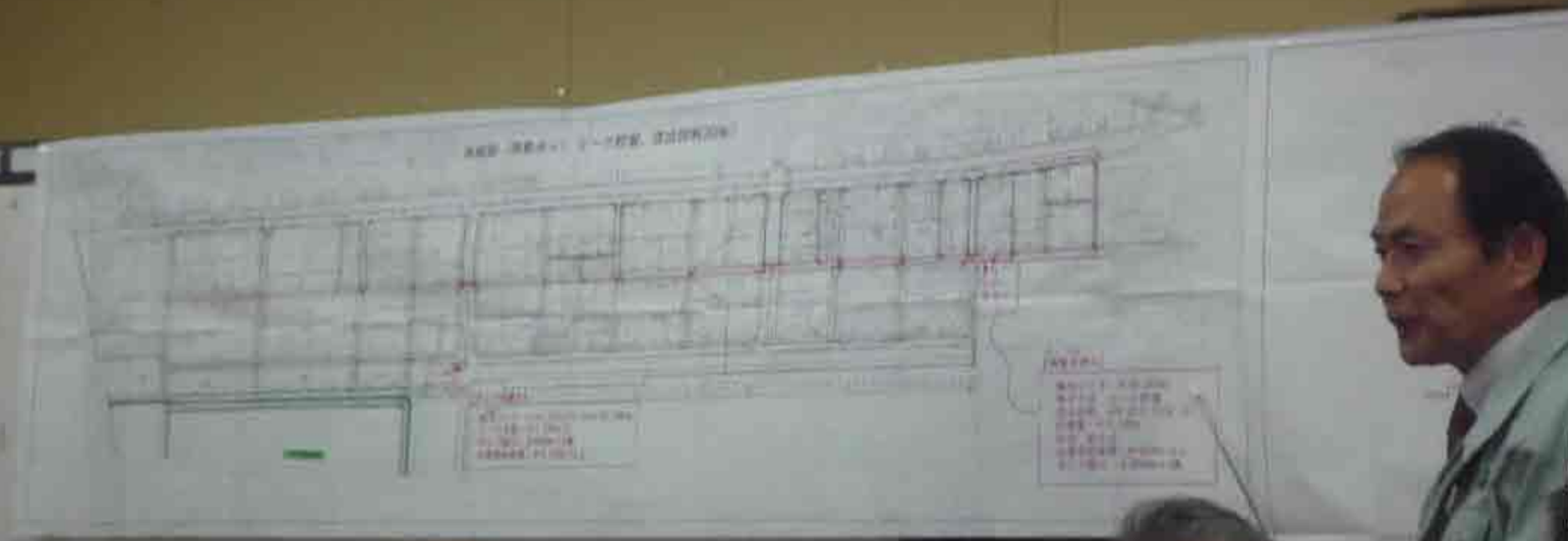


石巻、水産復興センター づくり支援WS









—石巻幸福度最適化を目指して—

目的: 背景

- ・被災者
- ・経済的ひい

2.1 緊急用

目的 被災からの復興、加工団地地域の復興と新しいビジネスモデルの構築

津波からの安全
仮施設、本施設

・居住者、働く人、来街者にとって幸福度を最適にするための生活と産業基盤を再生する

事業内容

観光・産業

魚場で困っているビジネスを探す

2.2

新しい再生モデル

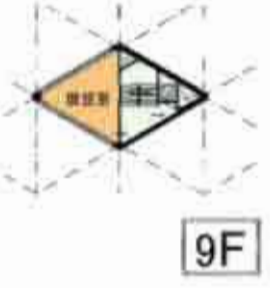
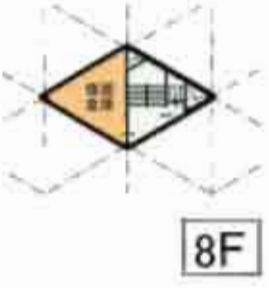
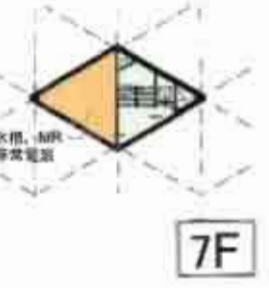
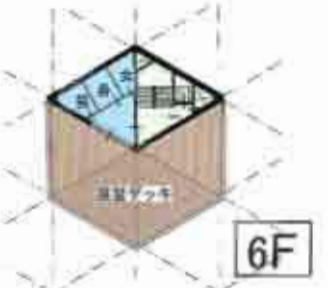
① 石巻の食材を便した

魚取り→加工→販売→レストラン/飲食店
→世界日本、石巻各地から人を呼ぶ、循環型の
ビジネスモデルを形成する。

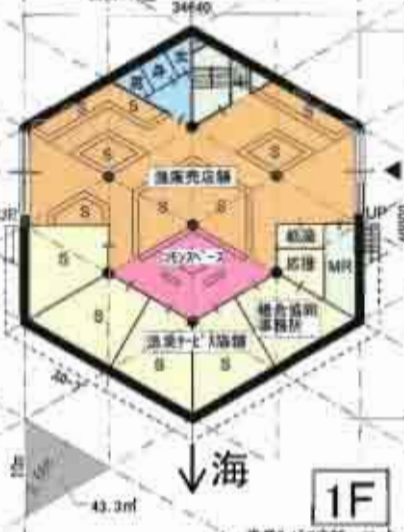
② 高令者、子供への石巻食文化を新たに作る
福祉・教育プログラム

③ 交流・情報

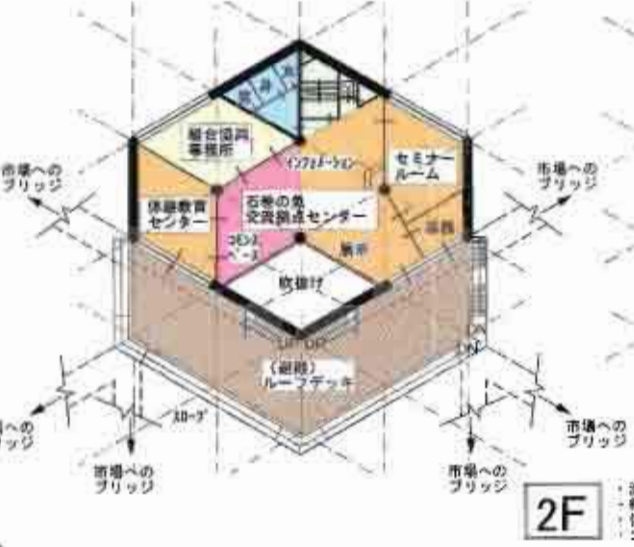
高令者への食事サービス
子供の魚関連体験教育
新たな住む働き方、石巻と世界をつなぐ情報交流プラットフォーム
次世代をつなぐ(過去-現代-未来)
災害の記憶の保存と教育



・演出・滞在施設
(各割室にはトイレ・洗面)
20㎡×4割



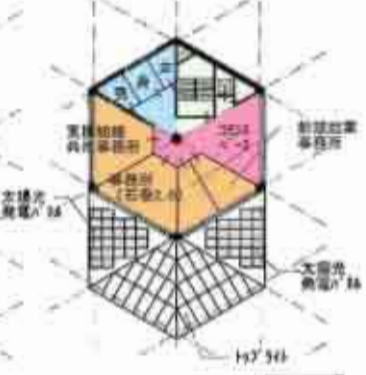
・漁業トリス店舗: 40㎡×4店舗
・総合協同事務所: 40㎡
・魚販売店舗: 18㎡



・漁交交流拠点センター: 28㎡
・総合協同事務所: 86㎡
・体験教育センター: 86㎡
・コモンスペース: 86㎡

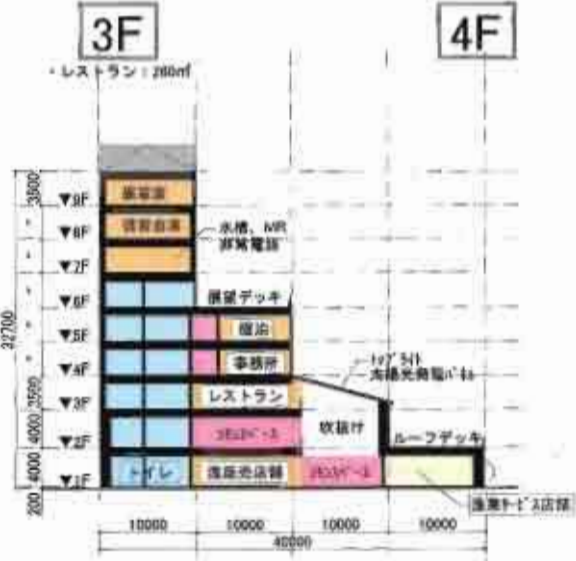


・レストラン: 280㎡



■面積表

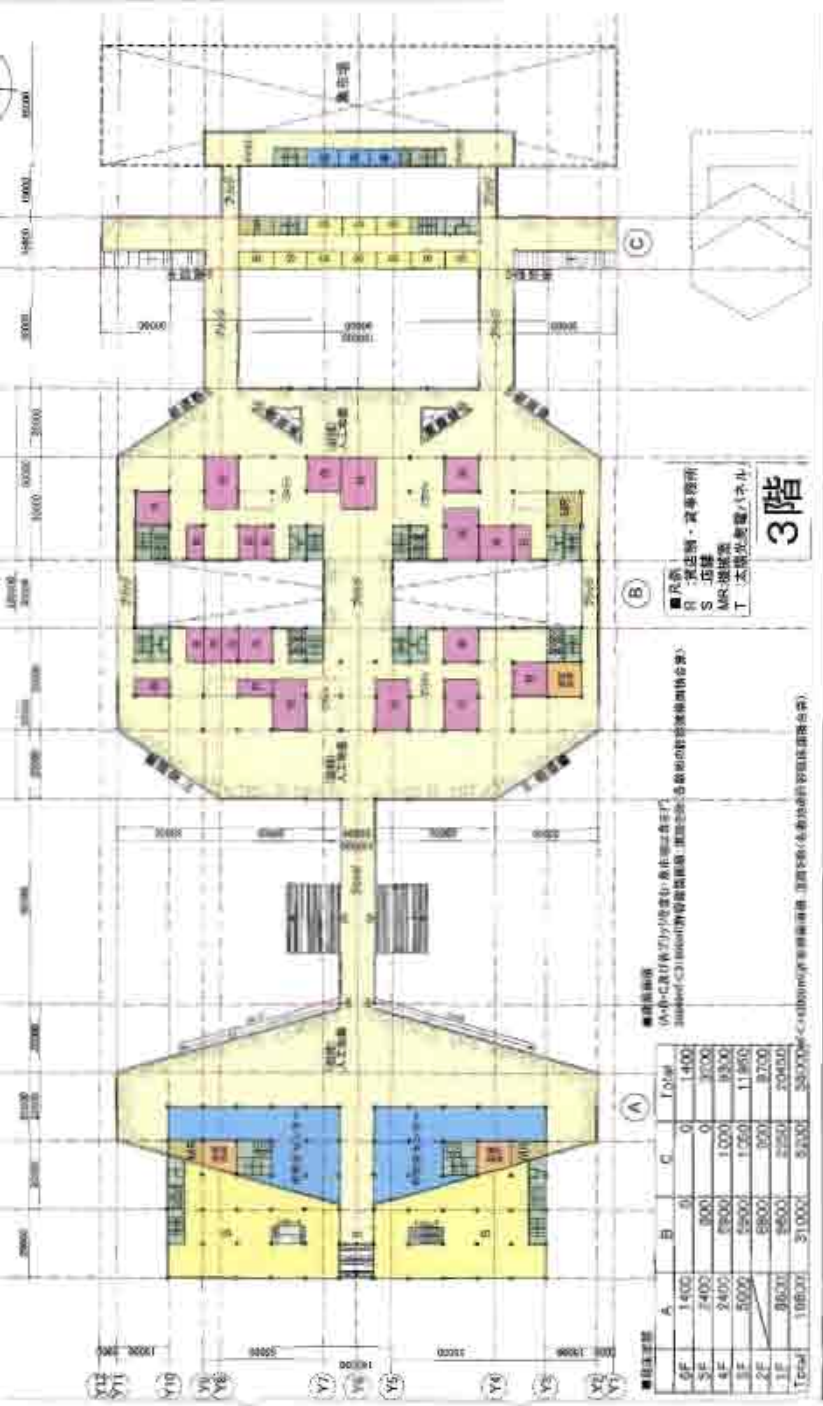
9階	86㎡
8階	86㎡
7階	86㎡
6階	86㎡
5階	259㎡
4階	259㎡
3階	346㎡
2階	606㎡
1階	1039㎡
合計	2853㎡



(仮称)水産復興拠点(センター)の位置づけ

国際機能, 避難機能, 観光機能,
新産業育成機能, 体験学習機能





3階

ナレッジ創造
 本部
 本社
 営業
 事務
 印刷
 倉庫

● 廊下
 ○ 出入口
 △ エレベーター

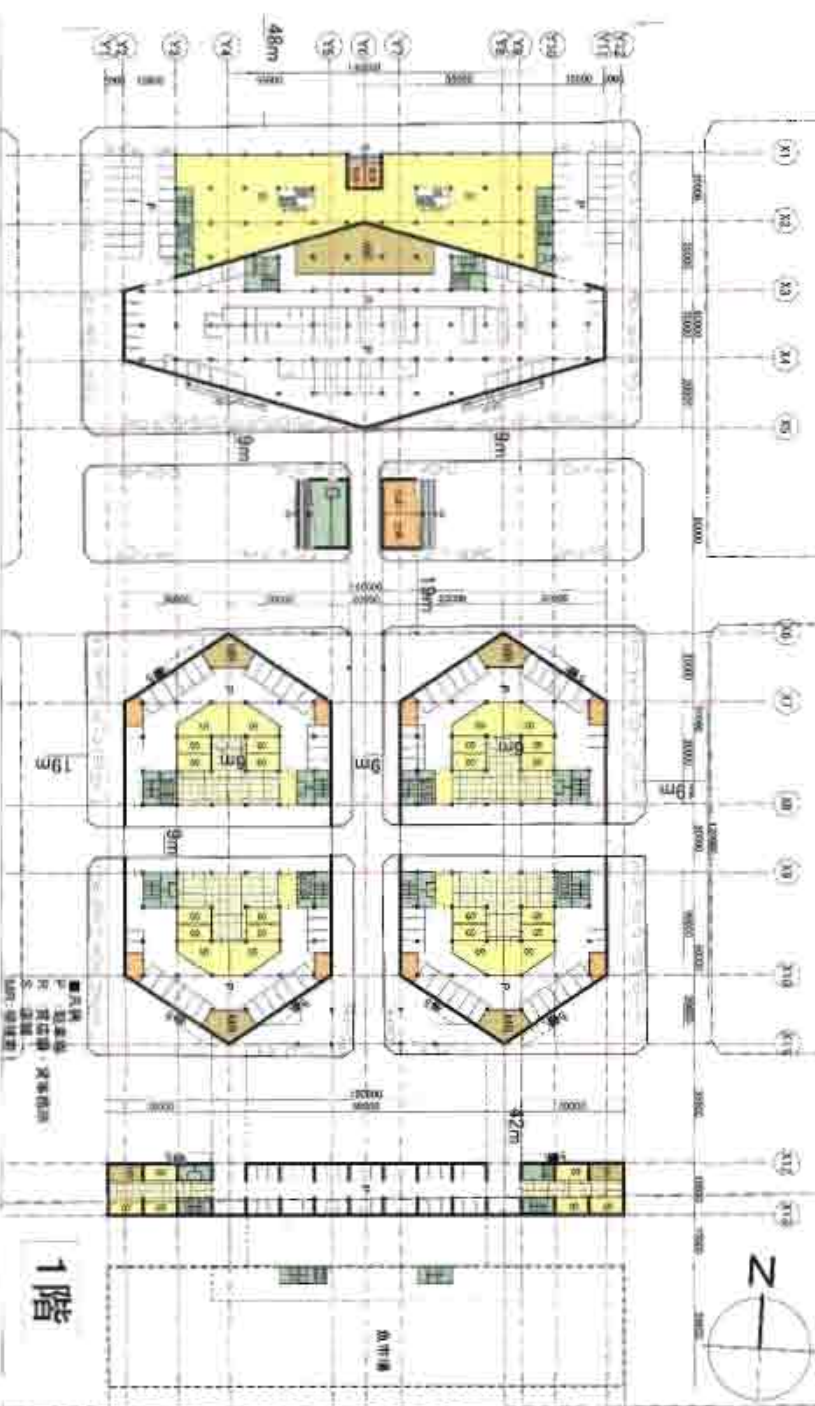
面積	A	B	C	D	V
1001	0	0	0	0	0
1002	0	0	0	0	0
1003	0	0	0	0	0
1004	0	0	0	0	0
1005	0	0	0	0	0
1006	0	0	0	0	0
1007	0	0	0	0	0
1008	0	0	0	0	0
1009	0	0	0	0	0
1010	0	0	0	0	0
1011	0	0	0	0	0
1012	0	0	0	0	0
1013	0	0	0	0	0
1014	0	0	0	0	0
1015	0	0	0	0	0
1016	0	0	0	0	0
1017	0	0	0	0	0
1018	0	0	0	0	0
1019	0	0	0	0	0
1020	0	0	0	0	0
1021	0	0	0	0	0
1022	0	0	0	0	0
1023	0	0	0	0	0
1024	0	0	0	0	0
1025	0	0	0	0	0
1026	0	0	0	0	0
1027	0	0	0	0	0
1028	0	0	0	0	0
1029	0	0	0	0	0
1030	0	0	0	0	0
1031	0	0	0	0	0
1032	0	0	0	0	0
1033	0	0	0	0	0
1034	0	0	0	0	0
1035	0	0	0	0	0
1036	0	0	0	0	0
1037	0	0	0	0	0
1038	0	0	0	0	0
1039	0	0	0	0	0
1040	0	0	0	0	0

3階
 1001~1040
 1001 1002 1003 1004 1005 1006 1007 1008 1009 1010 1011 1012 1013 1014 1015 1016 1017 1018 1019 1020 1021 1022 1023 1024 1025 1026 1027 1028 1029 1030 1031 1032 1033 1034 1035 1036 1037 1038 1039 1040

3階
 1001 1002 1003 1004 1005 1006 1007 1008 1009 1010 1011 1012 1013 1014 1015 1016 1017 1018 1019 1020 1021 1022 1023 1024 1025 1026 1027 1028 1029 1030 1031 1032 1033 1034 1035 1036 1037 1038 1039 1040



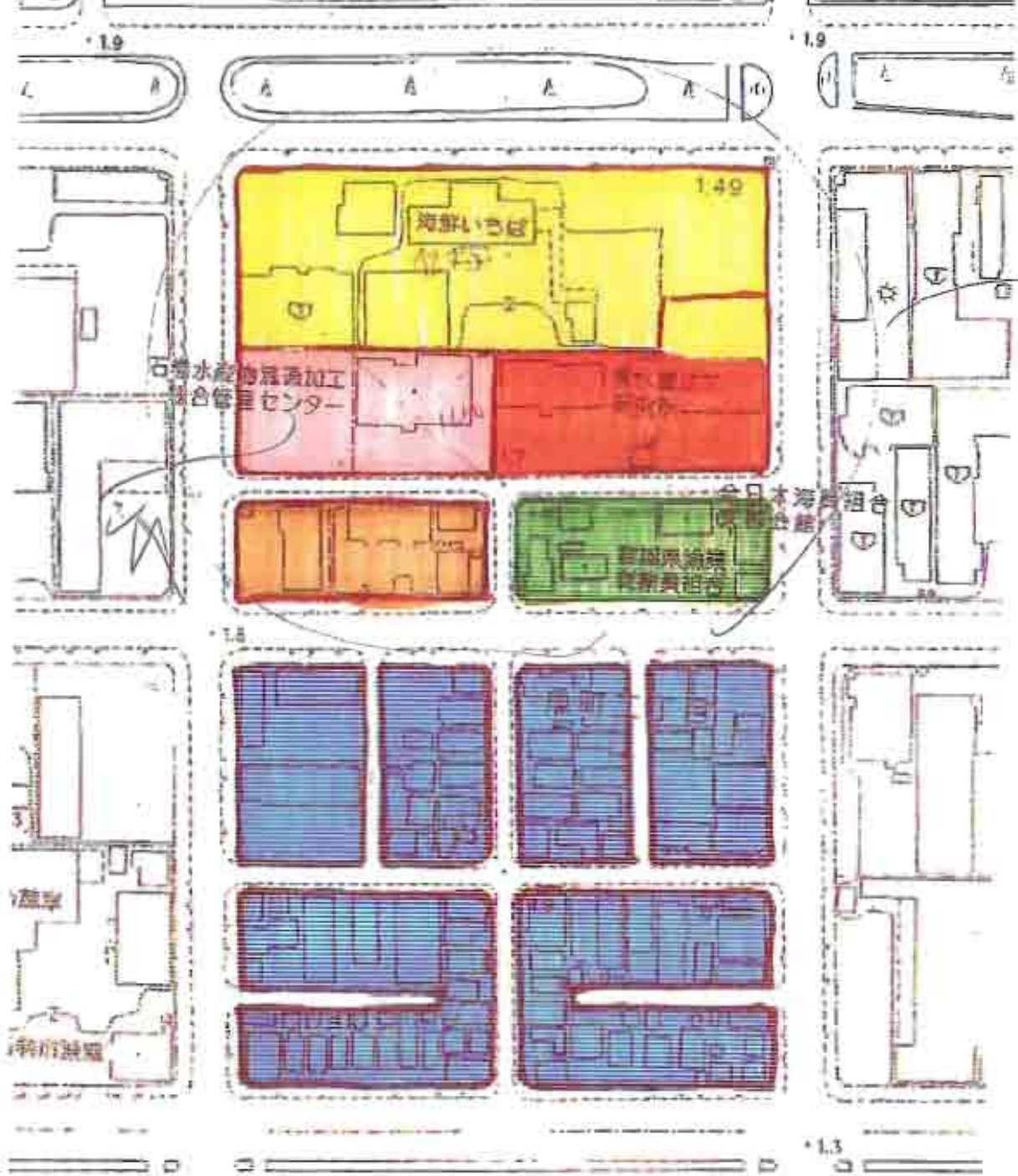
1階



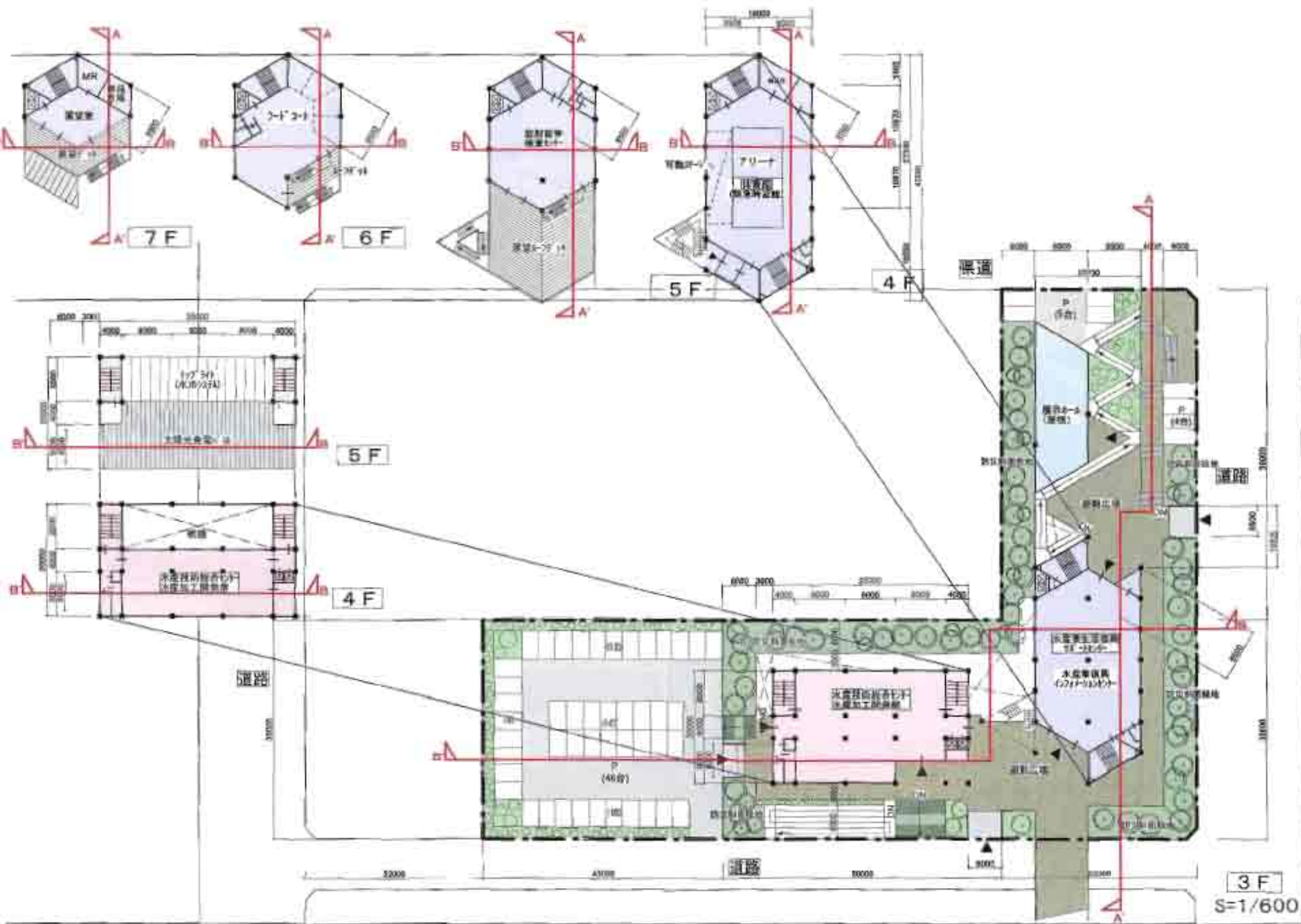
1階
 1001~1040
 1001 1002 1003 1004 1005 1006 1007 1008 1009 1010 1011 1012 1013 1014 1015 1016 1017 1018 1019 1020 1021 1022 1023 1024 1025 1026 1027 1028 1029 1030 1031 1032 1033 1034 1035 1036 1037 1038 1039 1040

1階

1階
 1001 1002 1003 1004 1005 1006 1007 1008 1009 1010 1011 1012 1013 1014 1015 1016 1017 1018 1019 1020 1021 1022 1023 1024 1025 1026 1027 1028 1029 1030 1031 1032 1033 1034 1035 1036 1037 1038 1039 1040



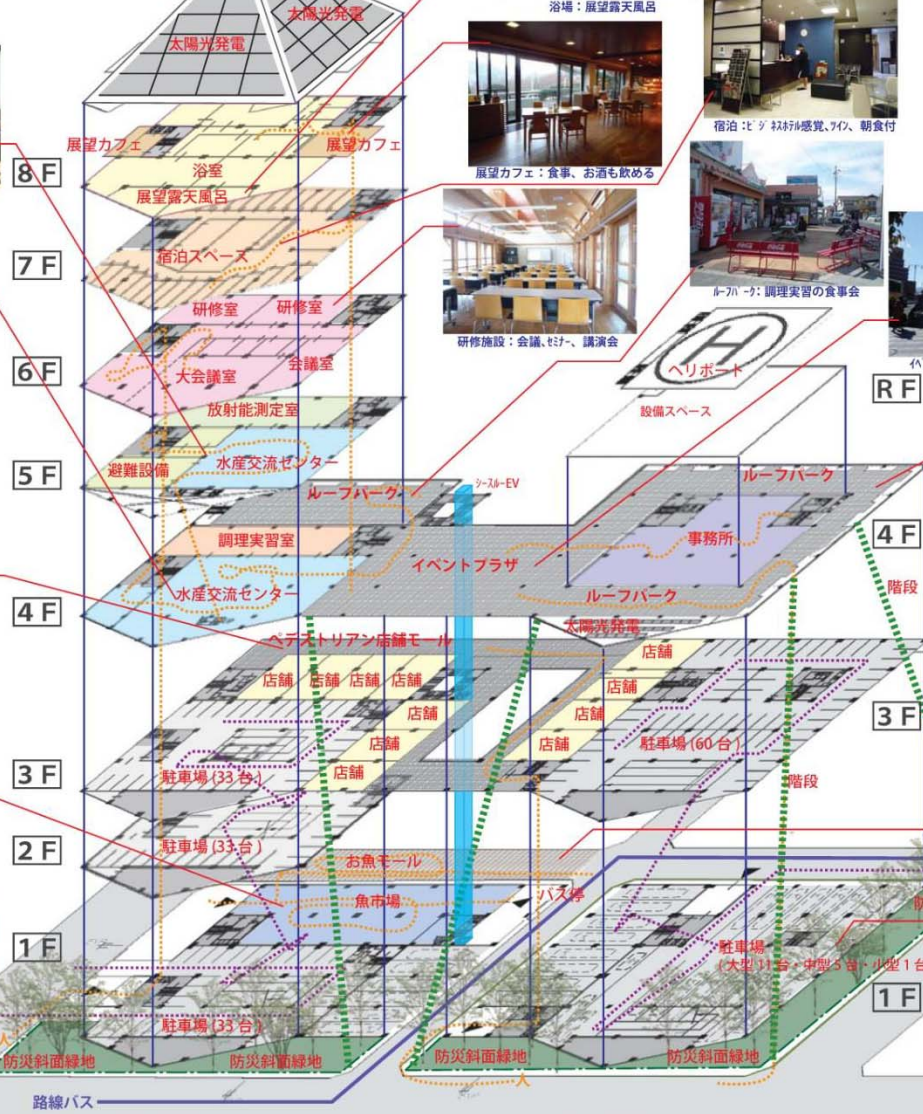
同じ
取っ
手





石巻：200種類の魚
水産・観光・教育
防災

高置水槽、キュービクル、EPCN室外機
自家発電等、設備入-ス



水産交流センター：水産物の展示、販売コーナー



水産交流センター：水産物の紹介コーナー



水産交流センター：子供のレクリエーション



ペットショップ店舗等：お弁当コーナー



ペットショップ店舗等：食堂街



魚市場：宅急便コーナー



魚市場：魚の直売



ペットショップ店舗等：回転寿司店



魚市場：屋台村的に食べる場



魚市場：買った魚を焼いて食べる食堂



浴場：展望露天風呂



展望カフェ：食事、お酒も飲める



宿泊：ビジネスホテル感覚、7F、朝食付



4Fホール：調理実習の食事会



パブリック：外部の催し空間



ルーフパーク：植栽、ベンチ、くつろぎ空間



お魚モール：歩行者天国でお魚ショッピング



大型バス駐車場：雨に濡れない屋根付

2012年8月：市から地権者調査及び施設整備構想の委託を受ける

石巻水産業の将来に向けて

—200種類の魚の学びと料理、そして観光へ—

主催：石巻市水産復興会議

石巻市水産復興会議 中心学び場
— 石巻水産業の将来に向けて —

水産復興センター の整備に向けて

— 200種類の魚の学びと料理、そして観光へ —

2012/12/10

石巻水産・東京支店グループ

高見澤 邦部 (東京創立大学 准教授)
佐藤 健一 (NPO法人 茨しいしほほまい 代表理事)
遠 光太郎 (農林業)

石巻水産業の将来を考える
— 石巻水産への復興再生目標の
導入について —





林農水相が石巻視察

地元水産界 復興ビルなど要望

林方正農林水産大臣が26日、石巻魚市場などを訪れ、地元水産界の代表らから要望を聞いた。田が定める食品の放射線物質濃度(ヘーリ)当たり1000ベクレル以下)の見直しを求められた林農水相は、消費者の反応や業者の意見を参考にし、上で再検討する考えを示唆した。

加工団地のかさ上げなどの進ちょく状況を見て回った。

石巻魚市場で行われた意見交換では市や石巻商工会議所などが水産加工団地一帯の汚水費、雨水管の整備や津波からの避難施設を備え、**水産復興ビル**建設、復旧を自派す企業への継続的支援などを求め要望書を提出。省庁をまたがる内容となっているが、林農水相は「いずれも産業の課題だ。どの省庁も復興担当」という認識をもっている。たて前りてな

林農水相は前日午前8時ごろ石巻市潮見町のセイホク橋石巻第3工場を視察。その後、魚町を訪れ、26年度中に終える見込みの水産



水産加工団地復旧工事の進ちょくを確認する林農水相 (写真石)

林方正大臣も東部地区の製塩専従経営者地委組合長が、1000ベクレル以下という放射線物質の規制値について「弾力性ある対応をしてほしい」と求めた。これについて林農水相

石巻市... 復興ビル... 要望... 対応... 規制値... 弾力性... 対応... 要望...

漁業者参加のワークショップ（平成25年）

- 1月28日：石巻水産の実状を知る」
- 2月18日：水産復興センターに必要な機能を考える
- 3月4日：水産復興センターの基本構想を考える





内、20-7・商店ビル案

19m

9m

9m

19m

PAD

PAD

42m

整水施設

魚市場管理棟 (工)

13-79-310

IA